



# 宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.58

令和6年1月31日

文責：校長 伊藤 孝行

**早くも今日で1月が終わってしまいます。**



<紫式部>

<清少納言>

今年の大河ドラマは紫式部が主役ですが、そのライバルの清少納言が書いた枕草子第 241 段に「ただすぎに すぐるもの」があり、その中では速く行き過ぎるものとして「帆かけたる船。人の年齢。春、夏、秋、冬の季節」があげられています。

千年前の人たちも、私たちと同じように月日の流れの速さを感じていたようです。

速いもので、3学期51日間のうち17日間が終わり、残り34日間となりました。

3学期という学期は、6年生は卒業と中学校進学に向けた準備、5年生以下はそれぞれの学年のまとめと次年度の準備という二つのことをしなければならない学期です。計画的に進め、漏れや落ちのこないようにしてまいります。

**ものづくり体験教室（和菓子）を行いました。**

学区内にある和菓子「かど屋」さんのご主人神山典之さんは、厚生労働省の「ものづくりマイスター」に認定されている凄腕職人さんで、宮城小の卒業生でもあります。



今回、神山さんと奥様にお世話になり、全校生でものづくり体験教室（和菓子づくり）のご指導をいただきました。

はじめに、和菓子についてのお話をいただき、

次に和菓子づくりの技を教えていただきました。

その後、全員で和菓子づくりにチャレンジしました。



今回の体験教室は、キャリア教育の一環として子どもたちには、様々な職業があることやプロとして仕事するには素晴らしい技術が必要なことなど学んでほしいと思いました。

**統合アンケートへのご協力に感謝します。**

宮城小学校、海老根小学校、宮城中学校の3校同時に行いました「統合に関するアンケート」も出そろい、集約作業に移っております。

保護者の皆様方には、それぞれお考えや思い、子どもたちの将来についてなど、様々なご意見を寄せていただき感謝申し上げます。

結果については、保護者の皆様にお知らせするとともに、2月27日（火）に開催予定の宮城地区学校運営協議会において、区長さんをはじめ地域の皆様にご報告させていただく予定です。

**明日から2月「如月きさらぎ」に入ります。**



2月の寒さは昔の人たちにとっては、今より厳しいものとして感じていたようです。

そのため2月を「如月（きさらぎ）」と呼んでいました。

これは、寒さが厳しいので、着ている着物の上にさらに重ねて着物を着る「着さらに着」からきていると言われていました。

2月3日（土）は節分で、翌4日（日）は立春となり暦の上では春となります。

少しずつ暖かさが増してきますが、空気が乾燥しかぜをひきやすくなるので用心してください。